

平成30年度帰国・外国籍児童生徒支援事業について

1. 事業概要

○日本語指導を必要とする児童生徒に対する指導体制の整備及び教職員の研修機会の充実

日本語指導とは…

日本語が十分でない児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を行い、指導を受けた児童生徒が、在籍する学級において他の児童生徒とともに日本語で各教科等の学習活動に参加できるようにすること。

2. 日本語指導の流れ及び体制

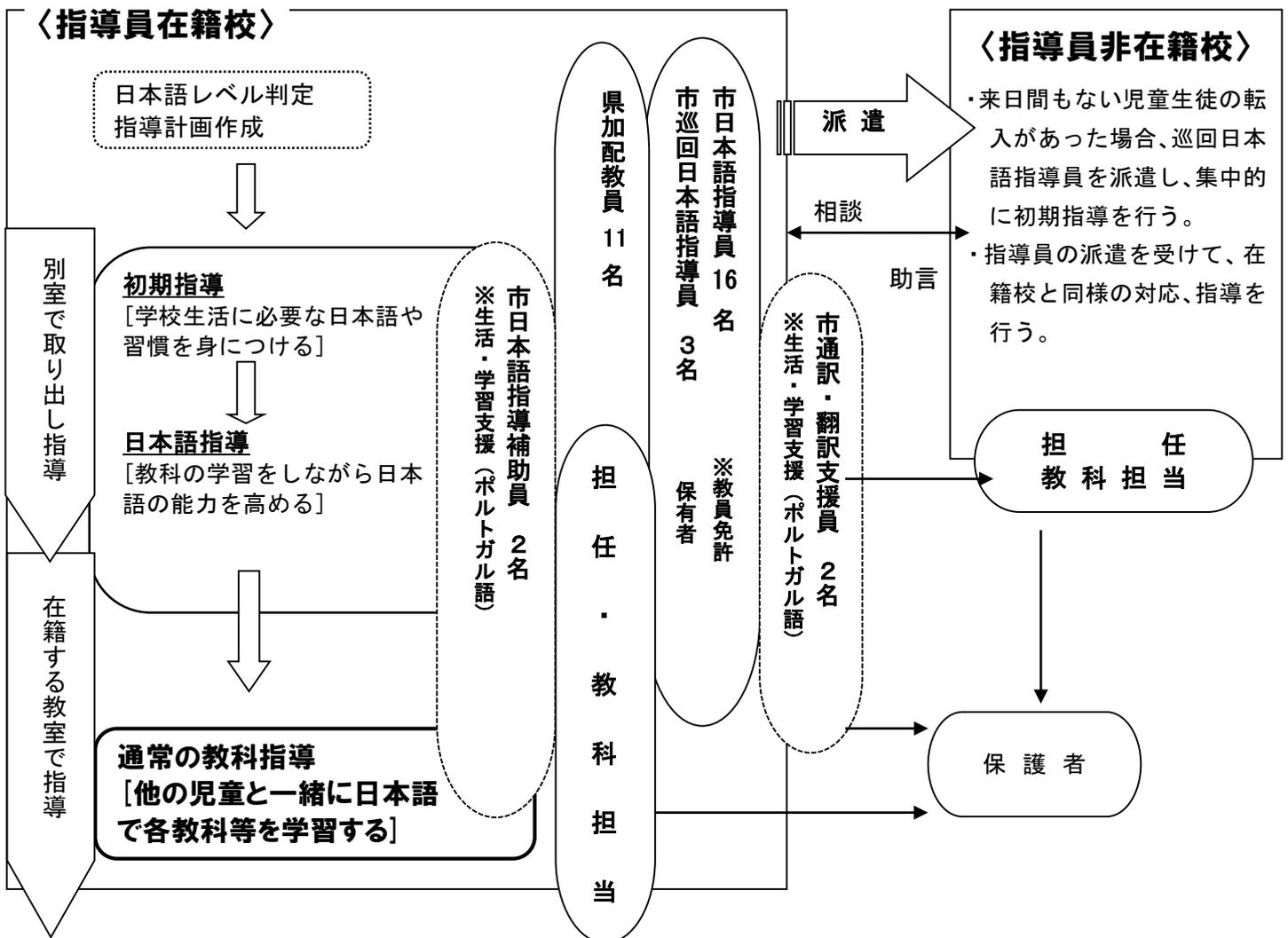
学齢児童生徒の住民登録・指定学校通知(市民課)



就学案内・転入学手続き／指定学校へ受入の依頼(学校教育課)



転入学準備等の説明(各小・中学校)



3. 日本語指導が必要な児童・生徒の状況 (H30. 6. 4 現在)

【単位：人】

学校名	人数	ステージ 1・2※	母語別人数	指導者配置数 ※ []内は派遣		
				県加配 教員	市日本語 指導員	市巡回日本 語指導員
今市小	5	1	ポルトガル語 4、フィリピン語 1		1	
大津小	3	0	ポルトガル語 1、中国語 1、日本語 1		[1]	
塩冶小	67	35	ポルトガル語 54、日本語 5、 ベンガル語 4、インドネシア語 2、 モンゴル語 1、フィリピン語 1	4	5	2
高松小	2	0	ポルトガル語 2		[1]	
四絡小	9	6	日本語 2、ポルトガル語 7	1	1	[1]
北陽小	2	1	ポルトガル語 2			[1]
平田小	1	1	中国語 1		[1]	
湖陵小	1	0	ポルトガル語 1		[1]	
荘原小	1	1	中国語 1		[1]	
西野小	1	0	日本語 1		[1]	
中部小	21	18	ポルトガル語 21	2	3	
出東小	1	0	フィリピン語 1		[1]	
第一中	3	1	ポルトガル語 3		[1]	
第二中	28	9	ポルトガル語 26、フィリピン語 1、 中国語 1	3	3	1 [1]
第三中	6	3	ポルトガル語 5、日本語 1		2	
向陽中	1	0	中国語 1		[1]	
多伎中	1	0	日本語 1		[1]	
斐川東中	2	1	ポルトガル語 2			[1]
斐川西中	6	4	ポルトガル語 5、フィリピン語 1	1	1	
合計	161	81	ポルトガル語 133、日本語 11、 インドネシア語 2、中国語 5、 モンゴル語 1、フィリピン語 5、 ベンガル語 4	11	16	3

※ステージ1…学校生活に必要な日本語の習得が始まる。

ステージ2…支援を得て、学校生活に必要な日本語の習得が進む。

4. 主な取組

(1) 通訳・翻訳支援員 (2名) …H29比：1名増

- ・保護者あて文書、教材、進路に関わる文書等の翻訳。教科学習、面談等の際の通訳。
- ・一人当たり1, 581時間/年 (1日7時間45分、月平均17日)

(2) 日本語指導員の配置 (16名) …H29比：2名増

- ・対象児童生徒在籍校における日本語指導
- ・一人当たり4時間×5日×35週 (年間700時間)

(3) 巡回日本語指導員の配置 (3名) …H29比：1名増

- ・来日間もない児童生徒に対する集中的な初期指導 (概ね2～3カ月)
- ・4時間×5日×35週 (年間700時間)

(4) 日本語指導補助員の配置 (2名) …継続

- ・児童生徒の生活・学習支援、心のケア
- ・28時間×35週 (年間980時間)

(5) 教職員研修の実施

- ・日本語指導に関する知識、技能等について
- ・初期指導や中学校における教科指導に有効な指導方法、教材について
- ・県日本語指導研修[5月31日(木)市悉皆]、市日本語指導教職員研修[10月18日(木)]

(6) 「特別の教育課程」の編成、個別の指導計画の作成

- ・日本語能力測定法等を利用した実態把握、個別の指導計画の作成
- ・計画の作成、実施、見直しのサイクル
- ・「特別の教育課程」編成届/実施届の提出